

即ち打物等の極めて精巧な技術が夙くから蒙古に傳來した事は周知の事実である。現に蒙古刀の精銳と、その彫刻や飾装の見事さとは、世界に有名である。また喇嘛教の佛像、佛具裝飾等の細工も優秀な特徴があり、余は今年一月張家口を経て大同に至り到る處に於て具さにかゝる大小の各種金工の製作に接して稱嘆措く能はなかつたのである。しかも蒙古に関する研究及び資料は極めて乏しく特に金工作品の如き、これに着目する人すらないのである。況ばや、これが実物の如き、日本で見ることを得ない、されば世人にこれを説明しても、たゞ驚くのみで認識も理解も持ち得ないのである。そこで余は、まづ國立美術学校に於て、これが標本として多少とも資料を蒐集し研究に貢献せられんことを建議する次第である。茲に於て余は右の理由に基き聊かなりとも、國家的<sup>〔觀〕</sup>敷念より、主として北京、張家口、大同、包頭、熱河、その他蒙古の各地に於て帝國の金工發達に資すべきを確信す、偁て金屬工藝研究の爲めに東京美術学校囑託を拜命することを得ば凡てに於て非常なる便宜を得。適當の小品の金工作品類を蒐集せんと欲する若し、その若干を東京美術学校に寄託または寄附する事を得ば幸甚である。行程等に就ては追て申告すべし。 以上

右 江島信一

東京美術學校長芝田徹心殿

十月三日 梅尾他家治に代わつて陸軍歩兵大佐長沢子朗が本校職務を命ぜられる。

同月三十一日 石黒宗吉に代わつて陸軍歩兵少尉宮田外喜雄が本

校職務を命ぜられる。

十一月十日 學校長芝田徹心は帝室博物館顧問に任命される。

同月三十日 囑託鹿島則元は近衛歩兵第三聯隊へ入營のため依頼解囑となる。

十二月十六日 水谷武彦は特別科外講義の謝儀として八十五円贈与される。

## ② 卒業式

昭和十三年三月二十四日、第四十七回卒業証書授与式が行われ、同日より三日間、校内で卒業制作品陳列会が開かれた。左記はその記録文書の抜粋である。

### 第四十七回卒業証書授與式次第 (三月二十四日 午前十時)

- 一、新卒業生入場著席 (第一號 講堂北口ヨリ出入)
- 二、職員、參列舊卒業生著席 (第二號 講堂東口ヨリ出入)
- 三、來賓著席 (第三號 講堂東口ヨリ出入)
- 四、校 歌 (一同 起立)
- 五、學校長式辭
- 六、卒業證書授與 (卒業生前後敬禮)
- 七、學校長告辭 (卒業生前後敬禮)
- 八、文部大臣祝辭 (卒業生前後敬禮)
- 九、卒業生總代答辭
- 十、式終了挨拶
- 十一、來賓、職員、舊卒業生、新卒業生順次退場

附

- 一、退場後來賓、舊卒業生ハ休憩所ニテ休憩ノ事
- 二、退場後職員、新卒業生ハ直ニ寫眞場へ集合ノ事
- 三、式ノ前後ニ於テ卒業生製作品隨意觀覽

卒業生科別人員

科名	本科	選科	特別學生	計
日本畫科	一六	〇	〇	一六
油畫科	三九	〇	〇	三九
彫刻科	一七	〇	〇	一七
塑造部	一七	〇	〇	一七
木彫部	七	〇	〇	七
圖案部	一六	〇	〇	一六
工藝科	三	〇	〇	三
鍛金部	三	〇	〇	三
鑄金部	八	〇	〇	八
漆工部	六	〇	〇	六
建築科	八	〇	〇	八
圖畫師範科	一四	〇	〇	一四
合計	一三九	〇	〇	一三九

卒業生姓名卒業製作目錄 (席次いろは順)

日本畫科

山 本 科 岩崎清之助  
 風 俗 同 石田 一郎

港 樹 蔭	同	河原 丈夫
讀 秋	同	川本 壽一
巖 少女像	同	河合 哲二
寂 日	同	加藤 英純
市 場	同	神田 禎之
蘆 織り	同	米澤 雄次
「ピアノ」を前に	同	土田幸一郎
海 女	同	野島 清一
冬 暖	同	山崎 民士
横 濱	同	佐藤 正衛
モ デ ル	同	三浦 眞一
陶土の丘	同	宮川 澄康
油 畫 科	同	白尾 嚴理
裸 婦	同	澁谷 保之
婦女立像	自畫像	伊藤 文雄
セイラー服の女	同	石原 壽市
婦人坐像	同	原 穰
婦人坐像	同	萩原 英雄
コスチューム	同	丹羽 重雄
人 物	同	鳥居 雅隆
坐 像	同	小川 武彦
ピンクのコスチューム	同	岡田又三郎
	同	若松光一郎



男の首	同	森川 正之	明日に於ける童畫の一分野	同	青木 滋芳
木彫部			抽象形態の創造	同	芦田 昭二
女	本科	伊藤 芳雄	廣告的觀點よりする寫眞構成	同	瀬部 晋
爆音、春の調べ	同	石橋 四郎	彫金部		
ベリカン	同	堀田 嚴美	鐵盛器	本科	小原 覺三
裸	同	渡邊 滿稔	香 爐	同	金子徳次郎
幻想	同	吉兼 國榮	花 器	同	義江 辰治
若き世代	同	吉田 治	花 盛	同	高橋 由昌
芳 潤	同	多田 瑞穂	物體 詩	同	山口 寅夫
工 藝 科			鍛金部		
圖案部			壁面裝飾花盛器	本科	石井 嘉之
環境に應ずる婦人服飾試案	本科	伊藤 新一	鐵鳥香爐、黃銅盛器	同	野崎南海雄
POPULAR-ATTRACTION	同	畠山 正男	英靈に捧ぐ	同	天津 裕生
裝飾畫「晝」「夜」	同	遠峯 健	鑄金部		
MANIKIN A. B.	同	千葉 四郎	花 瓶	本科	伊本 淳
壁面用地圖	同	米山 英夫	衝 立	同	蓮田 修次
出版物、裝幀	同	横川 武	電氣スタンド、壺	同	笠原 行雄
ATTRACTION OF TOURISM	同	高田正二郎	涼風機を兼ねたる Heat Radiator	同	黒瀬 英雄
圖 表 (エチオピアは何故?)	同	高須賀 桂	兒童會館への壁面照明	同	岸澤 武雄
デザインに於ける自然的モチーフ集成	同	中山 正人	羌 鷲	同	嶺 晴雄
木材玩具圖案並機構	同	野口 恒喜	馬六態(壁掛)	同	鹽野 達郎
色彩の理論的考究とその宣傳に於ける作例	同	大智 浩	洋風床の間	同	本内 尙文
百 椀 圖 鑑	同	山田喜外義	(水盤、花生二、キリン薄肉壁飾、燭臺二、香爐、果物盛、筆筒)		
居間家具セット(實材製品)	同	小杉 二郎			

漆工部

紫陽花之圖、風爐先屏風

本科 片山美智雄

同 (日本畫)

鹿島 則元

衣裳 宮

同 高橋 節郎

同 (油畫)

窪田 嘉作

翡翠高蒔繪 硯 宮

同 松本 茂

同

楠見 貞男

奔馬之圖 衝立、山岳文 香合

同 小森 五郎

同

船井 美周

化粧 宮

同 佐治 正

同 (日本畫)

南川與四雄

電氣蓄音機

同 三鬼 勤

同 (油畫)

宮川 邦雄

建築科

東亞會館

本科 沖坂左那衛

其他、手工成績品等

鈴木 亮平

國立公園に建つ觀光ホテル

同 若宮 周信

同

同

農村計劃

同 吉岡 辰雄

同

同

空港建築

同 高井 誠二

同

同

田園都市

同 館村 治郎

同

同

舞子に建つカシノ

同 中村 登一

同

同

藝術家會館

同 前川 正治

同

同

市民館

同 小林 光雄

同

同

〔図画〕師範科

習作 (日本畫)

平常成績品 (師範科に於ては卒業製作を行はず)

同

同

同 (油畫)

同 岩永 京吉

同

同

同

同 原田 浩

同

同

同

同 原田 博介

同

同

同 (日本畫)

同 若林喜久平

同

同

同 (油畫)

同 渡邊 徹也

同

同

同

同 金子仁三郎

同

同

③ 昭和十三年度入学者  
四月一日入学

日本画科予科

飯塚 孝之丞 東京

猪木 匡四郎 香川

大智 経之 東京

太田 章 東京

岡 博 石川

加藤 和夫 山梨

吉沢 英和 長野

谷口 修二 滋賀

高橋 杏二 茨城

高橋 助幹 茨城

武田 良三 東京

月岡 栄吉 東京

中根 宏 熊本

上田 政夫 山梨

熊谷 正雄 東京

山中 雪人 広島

藤 茂 勇 東京

近藤 啓太郎 京都

平高 主計 高知

毛利 武彦 東京